

## 収入状況（見込）申告書の記入のしかた

### 【記入者】

- (1) 世帯の主たる生計維持者が申告してください（世帯主を想定。擬制世帯主を含みます）。
- (2) 世帯の主たる生計維持者が世帯主でない場合は、申告者氏名を連名で記入してください。

### 【記入要領】

「1 本年の収入見込額の状況（令和4年1月から12月までの収入）」について

- (1) 令和4年1月～12月の収入（見込）、必要経費（見込）、所得（見込）を記入してください。
- (2) 減免判定を行う「収入の種類」は「事業収入」「不動産収入」「山林収入」「給与収入」のみです。
- (3) (2) 以外の収入は申告不要です（(2) 以外の収入の減少があっても、減免はできません）
- (4) 「実績額」には収入（又は経費）が確定している月までの金額を記入してください。
- (5) 「見込額」には収入（または経費）が未確定の月から12月までの金額を記入してください。
- (6) (1月～月)(月～12月)の欄に、(4) (5) で区切った期間をに記入してください。
- (7) 給与収入の(A)欄は、税や社会保険料を引かれる前の支給総額を記入してください（賞与を含む）
- (8) 給与収入の(C)欄「本年中の所得（見込）」は、未記入（空欄）のまま提出してください。

「2 前年の収入額の状況（令和3年1月から12月までの収入）」について

- (1) 令和3年1月～12月の収入（実績）、必要経費（実績）、所得（実績）を記入してください。
  - (2) (1月～月)(月～12月)の期間は、上表1と同じ期間にしてください。
  - (3) (D) (E) (F) 各欄の金額は、確定申告（又は住民税申告）と相違がないように記入してください。
  - (4) 給与収入の(D) (F) 欄は「令和元年分 給与所得の源泉徴収票」（会社等が発行）と相違がないように記入してください（源泉徴収票が複数ある場合は合算してください）。
- ※ (D) 欄は源泉徴収票の「支払金額」、(F) 欄は源泉徴収票の「給与所得控除後の金額」になります。
- ※ 源泉徴収票がない場合は「令和2年分の年末調整等のための給与所得控除後の給与等の金額の表」（国税庁ホームページ等を参照）で計算できます。
- (5) 令和4年1月1日に田川市に居住しておらず、他市町村で税申告をしている場合は、確定申告書（又は住民税申告書）の写しを添付してください。

「3 本年の収入見込額の内訳（1の収入の種類ごとの内訳）」について

- (1) 「1 本年の収入見込額の状況」の「収入の種類」ごとに記入してください。
- (2) 「収入の種類」「事業所名、会社名等」を記入してください。
- (3) 「収入の種類」が「給与収入」の場合は、必要経費内訳の記入は不要です（収入内訳は要記入）。
- (4) 「収入項目」「経費項目」を記入し、それぞれの「実績額」「見込額」を記入してください。
- (5) 「実績額」「見込額」「合計額(A)」「合計額(B)」のそれぞれ「総計」は、表1の数値と合致させてください。
- (6) 損失補てんに対して支払われる保険金や損害賠償金がある場合は、必ず収入項目に挙げてください。ただし、国、県から支給される給付金（特別定額給付金、持続化給付金等）は収入に挙げないでください。市町村から支給される給付金がある場合は、田川市役所税務課に問い合わせください。
- (7) 収入及び必要経費の内訳が確認できるもの（帳簿など）を添付してください。

【記入例】 裏面の記入例を参考にして記入してください。

収入状況（見込）申告書  
（新型コロナウイルス感染症関係）

田川市長 殿

世帯主氏名（申告者名） 田川 太郎

## 記入例

（裏面に記入のしかたが載っています）

申告者氏名

（生計維持者が世帯主の場合は記入不要）

世帯の主たる生計維持者の収入について、本年の収入見込額及び前年の収入額を次のとおり申告します。

## 1 本年の収入見込額の状況（令和4年1月から12月までの収入） [単位：円]

収入の種類	本年中の収入（見込）			本年中の必要経費（見込）			本年中の所得（見込） (A)-(B)=(C)
	実績額 (1月～5月)	見込額 (6月～12月)	合計 (A)	実績額 (1月～5月)	見込額 (6月～12月)	合計 (B)	
事業収入	2,000,000	3,200,000	5,200,000	1,100,000	1,700,000	2,800,000	2,400,000
不動産収入			0			0	0
山林収入			0			0	0
給与収入			0				

## 2 前年の収入額の状況（令和3年1月から12月までの収入） [単位：円]

収入の種類	前年中の収入（実績）			前年中の必要経費（実績）			前年中の所得（実績） (D)-(E)=(F)
	実績額 (1月～5月)	実績額 (6月～12月)	合計 (D)	実績額 (1月～5月)	実績額 (6月～12月)	合計 (E)	
事業収入	3,000,000	4,800,000	7,800,000	1,650,000	2,550,000	4,200,000	3,600,000
不動産収入			0			0	0
山林収入			0			0	0
給与収入			0				0

## 3 本年の収入見込額の内訳（1の収入の種類ごとの内訳）

収入の種類	事業収入	事業所名、会社名等	(有) 田川太郎商店
-------	------	-----------	------------

[単位：円]

収入項目	実績額 (1月～5月)	見込額 (6月～12月)	合計 (A)	必要経費内訳	経費項目	実績額 (1月～5月)	見込額 (6月～12月)	合計 (B)
販売収入	1,800,000	3,100,000	4,900,000		売上原価	270,000	465,000	735,000
保険金	0	100,000	100,000		給与賃金	500,000	700,000	1,200,000
損害賠償金	200,000	0	200,000		地代家賃	0	40,000	40,000
					水道光熱費	100,000	140,000	240,000
					広告宣伝費	0	120,000	120,000
					通信費	20,000	25,000	45,000
					減価償却費	150,000	210,000	360,000
					租税公課	60,000	0	60,000
総計	2,000,000	3,200,000	5,200,000		総計	1,100,000	1,700,000	2,800,000

※ 収入の種類が複数ある場合は、裏面に記載してください。

※ 損失補填に対して支払われる保険金や損害賠償金がある場合は、必ず収入項目に記入してください。

※ 収入及び必要経費の内訳が確認できるもの（帳簿など）を添付してください。